

図書館だより

令和3年5月 発行
大阪市立堀江中学校

図書館は閉館中…

緊急事態宣言発出のため学校が短縮している期間、図書館は閉館しています。6月に緊急事態宣言が終われば、今年度も元気アップの方々にご協力いただき、毎日、昼休みと放課後5時まで開館を考えていますので、もうしばらく待っててください。(1年生の利用はオリエンテーション・図書カードの配布後です。)

5月の21日ごろのことを「小満」と言います。二十四節気の一つです。万物が成長する「気」が満ち始める、というのがその名の由来です。小満を過ぎると梅雨の時期を迎えます。すでに今年は5月16日に近畿地方の梅雨入りが発表されました。統計史上最も早い梅雨入りだそうです。図書館は閉館中ですが、様々な本を読んで、いろいろな植物がすくすくと成長するように、みなさんが成長してくれたらいいなと思っています。たくさん本を手にとってください。

新しい本が
はいりました

『ユージン・スミス 楽園へのあゆみ』

土方 正志 (著)

記憶に残る写真はありませんか。

私にとってのそれは、ユージンの写真です。

みなまたびょう

水俣病の女の子が、母に抱かれて湯船に

つかっています。(後になって、娘さんは

17歳だと知りました。)なぜこの写真が記憶に残り続けるのか、この本を読んで納得しました。ユージンというフォトジャーナリストの伝記というジャンルを超えて胸に迫るものがあります。それは、今も存在している水俣病で苦しむ人たちの「私たちが忘れないで」という声なのです。あなたにも届きますか。聞き取れますか。

『だいじょうぶだよ、ゾウさん』

ローレンス・ブルギニョン (作)

年老いたゾウと子ネズミが、互いに
支えあって森の中で暮らしています。

ある日、年老いたゾウは自分が見送った

家族の眠る森へ行きたいと子ネズミに

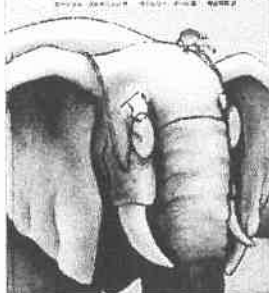
打ち明けます。その森に行くと、もう二度と戻れないということも
…。ところが、その森に行くための吊り橋が痛んでいてゾウは渡る
ことができません。大好きなゾウとの日々に終わりがくることを認
めたくない子ネズミは……(続きは読んでみてください。)

ユージン・スミス 楽園へのあゆみ



土方 正志

だいじょうぶだよ、ゾウさん



2-2 副担任 美術

井狩先生の
おすすめ本

『グースバンプス

地下室にねわれ』

R.L. スタイン (作)

津森 優子 (訳)



ジャングルのように植物で埋めつくされた父の研究
室。うごめく植物からは不気味な息づかいがきこえてき
た。動物のようにすりよってくる植物たち。父はマッド・サ
イエンティスト? 狂った科学者なのか…。怖くも美しい
世界観に思わず引き込まれてしまいます。読者に待ち
受けるのは、想像を上回る衝撃のラスト!!

グースバンプスシリーズはどれも面白い作品ばかり
です。一冊完結ですのでぜひ読んでみてください。

【クイズ】

こどもの日に食べられる「かしわ餅」と
「ちまき」はそれぞれ何の象徴でしょう。

ア、無病息災の象徴

イ、子孫繁栄の象徴

ウ、平和の象徴



「かしわ餅」と「ちまき」